

村長の日記

10月1日（月）

千早赤阪村役場内簡易郵便局 開局

今朝はいい天気、開局式は8時30分。郵便局の開始時間前に小さな開局式を済ませ、9時ジャストに開局する。

郵便局は地域にあって当たり前と思っていたが、昨年3月に水分簡易郵便局が閉局されることになった。地域の皆さんが困るだろう、できれば引き続き役所で営業できないかと努力し、やっと今日開局することが出来た。役所に来れば郵便局がワンストップで利用できる。少しは森屋、水分、桐山、川野辺、二河原辺の皆さんが便利になる。現在進行中の新庁舎の中にも簡易郵便局は併設して、住民サービスを最優先にしたい。

私は郵便局と付き合いが古い。物心ついた頃、我が家の離れに郵便局があり郵便局長は父。郵便業務と電話の交換台があり、数人の局員さんが勤務していた。次に母が局長となり電話はダイヤル化され、新しい局舎が庭に新築され、やがて母の定年により弟が局長となった。郵便局の合理化により弟は富田林にある梅の里郵便局長となり、千早郵便局は簡易郵便局となった。局舎の老朽化でJAの事務所を借りて千早簡易郵便局は営業を続け、現在に至っている。

コンビニが無く、商店が次々無くなって行く村にとって、ちょっといい話。

10月4日（木）

貴島産業 悪臭対策で辻脇千早区長と咲洲庁舎大阪府産業指導課へ。現在、貴島産業は施設の運転を停止しており、千早地区は臭気が無く平和な毎日が続いている。今まで20数年にわたって千早地区は悪臭に悩まされて来た。悪臭が無いのは快適。

許認可権限は大阪府にある、認可しないように府の担当者に要望した。「法的に有効な申請があれば許可しない訳にはいかない」が府担当者の答え。

昨年、阿蘇カルデラ内にあるし尿処理場を見学に行ったことがある。行政が建設した施設、施設本体はコンクリート壁で被われ、内部は負圧にされており建物から空気が外へ出ない。排気は薬液処理後活性炭で処理され、臭気は殆ど無い。そのためには活性炭の入れ替え、処理液のリニューアル等、かなり運転費用がかかる。貴島産業が運営を続けるならば、完全な設備設置を要望してきた。

村長の日記

10月5日（金）

午前

100歳のお祝い（春の家）

娘さんは、私の千早中学校の同窓生。100歳のおばあさん、娘さん、孫、曾孫、玄孫まで揃ってのお祝い。100歳のおばあさんは元気、あと20年すこしで私達も100歳を迎える、平均寿命はかなり延びた。100歳のお祝いを頂けるまで、元気で長生きしたい。

19:00

第5次 中学生海外研修報告会

今回は9名、オーストラリア、ブリスベンへ。ホームステイでセンテナリーハイスクールの報告会。

1名は体調不良で休みだったが、8名は自分の体験と英語のショートスピーチを行った。ホームステイを外国で行ったことで、出発前の皆さんより一皮剥けた感じがする。言葉の通じない外国でホームステイが出来たことで、自分に対する自信が生まれたようだ。

日本は島国から脱して、ボーダレス時代がすでに始まっている。世界の孤児にならないように、国際語の英語に皆さんが興味を持ってくれたことに、意義がある。

10月8日（月）体育の日

村道西峰学校線並びに元気保育園法面崩壊の説明会

村よりの説明要旨

村道西峰学校線

- ・ 村道の側溝がほぼ20m崩れ、民地の法面が崩壊している。
側溝は排水路を設置して水を止め、ブルーシートで法面の雨水を防いでいる。
- ・ 崩壊は夜中に確認、警察が通行規制を行った。復旧が済むまで通行止めを続ける。

元気保育園

- ・ 園庭、3分の1が崩壊、幅30m 高さ16m
9月5日、クラックを確認、ブルーシートで対策。雨でクラック拡大調査を始めていた最中、今回の台風で崩壊。

村長の日記

- ・ 園舎の安全を優先し、千早小吹台小学校のコミュニティホール、図工室、総合学習室を借りて9月20日より保育中。

今後の対応

- ・ 復旧には4名の民地所有者の協力が必要、現在協力要請中。
- ・ 地権者と交渉の上、応急措置として大型土嚢を積み上げ仮復旧。

説明後の意見交換

Q 通行止めの解除はいつ頃か？

A 11月末までに復旧したい

Q 元気保育園の復旧は？

A 現在千早小吹台小学校で仮保育中、災害復旧状況により変わることもある。

Q 認定こども園の開園を早めては？

A 認定こども園の開園を早めるのは難しい。最短での開園は平成32年4月

Q これからの情報開示は？

A 今は崩壊後1週間、不明な点が多い。皆さんの思いを聞くとともに、情報の開示は節目節目に行う。

今は異常事態だ、園児が通過する時間帯は小学校周辺を車で通過しないようにするべきだ。

10月9日（火）

連合大阪河内地区協議会・自治体予算要請（ホテルアウィーナ）

本年連合大阪の政策予算要請の概要は

* 女性の活躍推進と就業支援

女性の積極的な登用・評価を行うとともに、妊娠・出産・子育て・介護、望むライフスタイルで仕事と家庭を両立可能な仕事環境を作る事。

* 下請取引適正化推進

サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な配分実現に、資材・人件費など増加コスト転嫁の適正化に向け、対下請けに適正

村長の日記

な取引を。

* 地域包括ケアシステムの構築

地域の介護拠点整備に向け、24時間対応の在宅サービス・在宅治療・訪問介護・リハビリの充実。

* 子供の虐待防止

子どもの虐待に早く適正に向け、自治体相談員の数、予算増と共に、子ども家庭センター、医療機関、警察、関係機関との情報共有の上早期対応と予防を。

* 奨学金制度の改善

2017年、給付型奨学金制度が新設された。対象者・給付金額の拡充、奨学金返済支援制度の新設を検討。

* 食品ロス削減対策の推進

流通過程、関連事業からやむなく発生する食品ロス、余剰食品等をフードバンクなど関係団体、福祉施設、子供食堂などを運営する組織等で活用策を考え具体化する。

* 防災減災対策を

ハザードマップ、防災マニュアルを活用し住民が具体的災害対策の啓発実施を促すとともに訓練の継続を。

* 集中豪雨、風水害の被害防止策

今回の西日本豪雨など日本各地で豪雨災害、土砂災害が発生している。災害の発生しやすい場所を特定し、森林整備など維持管理を重点的に行う。

他、多くの要望を頂いた。

10月11日（木）

東大阪新花園ラグビー場 内覧会&キックオフイベント

花園ラグビー場は毎年正月全国高校ラグビー選手権大会の行われる場所。実業団では近鉄ラグビーが有名で、私の卒業した成蹊大学ラグビー一部から何人かは近鉄にラグビー入社した。

私が在籍した富田林J.Cのホストクラブは東大阪J.Cで、花園へ来いとのおファーはあったが実際に花園へ行くのは初めて。170号線か

村長の日記

ら左に折れるとすぐ左手にラグビー場があった。リニューアルしたおかげで綺麗なスタンドが目に入った。

スタンド前に車を止めてグラウンドへ入ったところ、人工芝とは違う天然芝のピッチ。緑の色がすばらしい、芝を張ってそのまま養生している状態。プレーをするときは適当な長さにカットする。広いラグビーコートいっぱい植えられた芝、雑草が1つも見当たらない、この上でラグビーをさせるのがもったいない。

春5月に芝生をカット。9月まで夏芝をびっしり生やしカット。10月にきれいな芝で大学リーグをやり、10月末、冬芝の種をまく。12月末高校ラグビー開幕。これを繰り返すことで、年中すばらしい芝生の上でプレーが出来る。

ラグビーワールドカップでは4試合予定されている。最高の状態でプレーできるように芝生を管理するのは大変な仕事だ。

花園は、すでに世界を迎え撃つ準備は完璧。

10月17日(水)

区長会

今年は大阪北部地震に始まり、台風21号、台風24号で大阪は災害の見本市状況を呈した。特に台風21号は風台風、今までは台風＝雨、降雨量が250mmを超すと、村のどこかで災害(がけ崩れ等)が発生した。しかし21号の雨は大したことが無かった(降雨量100mm)。これからは想定外の天災に備えなければ。

区長会では、21号台風で地域の人達が倒木の伐採・清掃に協力していただいたことにお礼を申し上げた。

関西電力来庁

台風21号で村が停電になった。当日夜11頃に関西電力に電話が通じ「停電復旧は4~5日先」。停電がつづくとは大変なことになる。家はほとんど電気で動いている。風呂は電気が無いと、ガスだろうが石油だろうが沸かせない。電気炊飯器はダメ、TVはダメ、中継局のバッテリーダウンで携帯もダメ、ポンプが動かなくなるので水道はストップ、水洗トイレは使えない。特に高齢の女性が多い村では、生命の危険ささえ考えられる。ぜひ村の停電回復を急いでほしいとお願いし、吉年を除き翌日中に停電が解消した。関電の皆さんにお礼を申し上げますとともに、府下で1番高齢化率の高い村住民の命を守る電気をよろしく願いした。

村長の日記

10月18日（木）

中部ブロック府県町村会長会議 全国町村長会議

11月28日にNHKホールで行う、全国町村長大会への要望書の確認。

近年、我が国は地震、土砂崩れ、豪雨などの天災が多い。村でも げんき保育園下の土砂崩れなど想定外の災害が多発している。財政力の弱い地方の町村が力を合わせ、日本全体を強靱化する必要がある。熊本・北海道の地震、倉敷の豪雨、広島 of 崖崩れなど、マスコミ報道は人口密集地が多く、人口の少ない地方の報道は少ない。強靱化が進んでいない地域で人口が少なく、国に対する要望が届かないのが小さい町村だ。田舎を安全で住みよい所にすれば、田園回帰が加速するのではないか。可能性を追い求めることで一極集中のスピードを落とし、地方創生を成し遂げる時が来る事を信じ、町村長が力を合わせ要望する。

田園回帰、町村長会での1番の課題。田園回帰の問題点は生活をどうするかにかかっている。地域で循環型経済を作れるか否かだ。大規模チェーンが全国展開し、地域の皆さんが大規模チェーンで購買することにより、蓄積は大規模チェーンのある大都市へ移っていく。

村は20年前まで、木材価格高止まりのおかげで山林労務者、山主が潤い、地域に山の収益が滞留し、地域経済を潤していたが、今は地域に流入する資金が止まり、地域循環型の経済が無くなった。

これからどうして循環型経済を構築できるか、行政、村ともに模索・実行する時が来た。

10月20日（土）

自民党大阪府連大会（ニューオオタニ大阪）

今の大阪府自民党には、先の内閣改造にもかかわらず大臣が居ない。副大臣・政務官はもちろん大切だが、大臣に就任してもらう大物の出現が待たれる時だし、府民も望んでいる。

私の記憶では、大阪選挙区の大臣は 故塩川先生が最後だったと思う。今、大阪は維新・公明・自民の代議士がしのぎを削っているが、大阪出身の大臣は維新でも公明でも自民でもいい、ぜひ大臣の1人は出てほしい。

私は数年前より東京へ行く機会が多くなり、大阪の道路行政に疑問が出てきた。今、新大阪駅は大阪の玄関。近畿以外の地域から大阪へ鉄道で来る人は新大阪で降りる。市内への連絡はJR、地下鉄、車。タクシーで市内、河内へ行くには、新御堂から阪神高速に直接行けず、1度一般道へ降りなければならない。新しい都市計画で議論する必要がある。

村長の日記

私は昔から当たり前と思っていたが、日本100名城スタンプラリーに参加し、日本全国を周って気が付いた。大阪の道路事情は日本の中では非常に悪い。

ぜひ、この劣悪な道路事情を改善してほしいと自民、維新、公明に期待している。

10月23日（火）

11時役所出発、京奈和道、24号線、伊賀街道経由で笠置へ。途中奈良バイパスあたりで昼飯の予定だったが車が多く、伊賀街道に入ってからにしようと木津川沿いの道路に入ったが、途端に川と田圃ばかりとなり、田舎に向かっている感じ。やっと川沿いに飯屋を見つけて昼食、うな重を注文。大阪と比べると2分の1以下の安さ、旨い。

笠置町内に入り、笠置寺への道に車を乗り入れる。狭いし、傾斜がきついし、カーブがきつい。笠置の人達は運転が上手いのだ。村にも同じような場所が2~3カ所あるが、この道ほどの長く続かない。乗り入れて500~600m登ったところに料理屋があり、マイクロバス(27人乗り)が置いてある。ドライバーは神業の持ち主だ。笠置寺の駐車場は広く、30台程度は駐車できる。

笠置寺の境内には巨大な石が沢山ある。見上げるような大きさと、仏さんを彫刻した石が数個あるようだ。本堂前の石には仏さんを掘ったらしいが、戦で本堂が焼け、石の表面が剥離してわからなくなっている。これをITの技術を使って復元の可能性を模索している。

50mほど離れた所にある石の彫刻は、私でも仏像と理解できた。

楠公さんゆかりの地を訪問する度に思うが、当時の南朝方が立てこもったところは険しい山の頂上付近ばかり。攻め上ってくる敵を迎え撃つ戦法だ。船上山・千早城・笠置も同じ。

笠置町長の話では、日本で2番目に人口が少ない町。鉄道があり、大阪へ1時間。比較的便利な街だが人口が減る、村と同じ悩みだ。

10月25日（木）

南河内環境事業組合理事者研修

今回は青森市。ごみ焼却施設整備状況を視察。

朝9時30分、伊丹空港集合。千早赤阪→伊丹の時間が読めないなので、6時40分千早出発。309号線美原→松原線へ、309号線、松原線の混雑がひどい。環状線に入ったのが8時40分頃、幸い空港線がスムーズに走れたので、9時10分頃伊丹に着いた(間に合った)。

村長の日記

青森市のごみ焼却施設は最新式の施設。酸素を吹き込み、灰まで溶かす施設。施設整備は平成25年から27年、3年がかりで整備された。この施設はごみの廃熱を利用し、蒸気タービンで7,650kwの発電設備と、周囲の土地を利用した太陽光発電設備(730kw)を持つ。施設内で使用する電力を賄い、余剰電力は売電している。

この施設は新設に伴い立地を検討した結果、将来を見据え、最終処分地に隣接して建設された。

三菱のごみ焼却施設は、岩手県では焼却灰をセメント製造の原料に、青森市ではアルミ、鉄などを徹底的の分離回収、資源循環型社会を目指している。焼却灰を最小にするなど自然にやさしい施設になっている。

私達3市2町1村は南河内環境事業組合を作り、地域のごみを処理している。最終処分はフェニックスがあり、青森市のように徹底的に減量化するまでのことは無い。最新式の新しい施設を見ると、灰まで熔融することで最終処分のごみを最小化している。燃焼温度を上げるため酸素を吹き込むなど運転に高度な技術が必要となっており、施設設置者に運転を依存しているところがほとんど。ランニングコストが高額になる。ダイオキシンの出ない綺麗な燃焼は、南環境の施設で十分。出来るだけ安価に処理できるようにするのが我々の責任だ。